

令和6年5月30日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿読谷村議会議員
與那覇沙姫 印

一般質問通告書

第535回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
1 読谷村職員採用候補者選考試験と会計年度任用職員制度について (1) 令和6年3月議会の一般質問で伝えた、読谷村職員採用候補者選考試験の選考基準と選考内容の見直しは行うのか。見直しを行うとしたらどのような内容か。また採用試験に伴い、職員条例定数の見直しも視野に入れているのか進捗を伺う。 (2) 今年度で5年目を経過する会計年度職員の次年度雇用の継続は可能か不可能か。	
2 乳幼児保育教育の質を上げる政策改善を求める (1) 読谷村障害児等保育実施要綱の保育士配置基準見直しの進捗 (2) 国は地方交付税措置で障がい児一人あたり150.9万円の交付をしているため、読谷村障害児等保育実施要綱の保育士一人当たり月20万円の補助でなく、子ども一人につきの補助に改定する必要があると思うが村の見解は。	
3 村立幼稚園について (1) 本来、保育が必要な子どものために、朝の受け入れを教育支援員一人で7時30分に園児を受け入れている。安全面や子どもの最善の利益である遊びたい子どもたち生活は担保できるのか。 (2) 特別支援員・特別支援員ヘルパーの職務分担はどのようなになっているのか。	

質 問 要 旨	答弁を求める者
(3) 支援児は午後の預かり保育の時間をどのように過ごしているのか。また、午後の預かり保育の職員体制は支援児や気になる子どもたちへの丁寧な対応はできているか。 (4) 幼稚園の在籍園児数のうち、本来は保育を必要としながらも幼稚園に通う、4・5歳児の数はどのようにになっているのか。	
4 沖縄県こども未来部の通知「令和6年度認定こども園への移行等に関する意識移行について」の報告は行ったのか。また、その通知から見えてきたこども園が整備されてきたところで生じた課題を村はどの様に活かすのか。	
5 フードロスの目的から学校給食の牛乳の選択制について (1) 牛乳の廃棄量は。 (2) アレルギー、乳糖不耐症、さまざまな理由で牛乳除去をしている人数は。	
6 読谷村健康増進センターの新しい指定管理者の指定管理料が5年間で2千400万円となり、これまでの指定管理料5年間分と比較すると1億600万円の財源が生まれる。その使い道は。	